

東北都市学会 2016 年度大会
第 18 回

大会プログラム

【主催】東北都市学会 【共催】日本都市学会 【後援】福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

2016(平成 28)年 11 月 19 日(土)～20 日(日)
福島市アクティブシニアセンターA・O・Z



東北都市学会 2016 年度大会
都市基盤整備と新しいまちづくり

東北都市学会会長 増田 聡

東日本大震災以降、東北地方の各都市では急ピッチで都市基盤整備と新しいまちづくりが進められている。この背景としては、様々な震災からの復旧・復興事業が街の姿を大きく変えるとともに、都市間・地域間の人の流れをも大きく変化させ、新しい都市間関係を作り出しつつあることがある。「復興高速道路」の建設と都市圏の再編は、その代表例の一つである。各都市はこのような動きに対応し、新たなまちづくりを進めている。

今年の福島大会においては、福島市を事例として「復興高速道路」(東北中央自動車道の一部を構成する相馬・福島道路約 45km と、自動車道の福島—米沢間約 28km)の建設がもたらす影響と、それを受けての新しいまちづくりについて、検討を加える。

「復興高速道路」は国土交通省が管轄している自動車専用の高規格道路で、被災した沿岸地域の復興を加速化させるとともに、災害時の救援活動や避難行動などにも活用することを目的としている。福島 JCT—相馬 IC 間には 6 つの、福島 JCT—米沢 IC 間には 1 つの IC が建設される予定である。この道路の形態は一般の高速道路と同じであるが、料金は無料であり、自由に通行できるという利点がある。福島 JCT—米沢 IC 間と霊山 IC—相馬西 IC 間は 2017 年度中(相馬西 IC—相馬 IC 間は 2018 年度中)の開通が予定されており、2020 年度には全線が開通する。全線開通後は福島—相馬間は約 40 分、福島—米沢間は約 30 分で結ばれることとなり、人と物の流れが大きく変化することが予想される。

これに備えて、福島市及びその周辺地域では、新しいまちづくりが進められている。

新しい IC 建設が予定されている福島市大笹生地区は、かつてオフィスアルカディア構想地区として整備がすすめられたが、必ずしも十分な企業集積は得られなかった。今回の IC 建設を契機に、道の駅建設など新しい地域整備が行われている。また、2017 年度に開業が予定されている伊達市霊山 IC 周辺地域では、大笹生 IC に先駆けて道の駅整備がすすめられ、現在では特産品開発のための地域住民の組織化などが進められている。

このような動きは IC 周辺地域にとどまらない。高速交通機関の整備は都市間競争を激化させるため、中心市街地の機能を高度化させることが必要になる。これに対応するため、福島商工会議所を中心として、新たなまちづくり計画が作成されている。

今回の大会では、復興事業が進められる中で現れた新しい都市基盤整備とまちづくりについて、関係する各種機関の関係者が参加される大会 WS などを通して検証し、これからのまちづくりについて考えていく契機を提供したい。

主催 東北都市学会

共催 日本都市学会

後援 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

会場 福島市アクティブシニアセンターA・O・Z

[日程]

11月19日(土)

13:00~13:40	理事会
13:50~14:30	委員会
14:40~17:30	ワークショップ(参加費 1,000 円)
18:00~20:00	懇親会(会費 5,000 円)

11月20日(日)

9:05	受付開始
9:20~11:50	研究発表

[研究発表について]

1. 発表時間は、**発表 25 分、質疑 5 分(交代時間を含む)**です。時間を厳守されますよう、お願いいたします。
2. 発表資料は **20 部**ご用意下さい。会場には白黒の有料コピー機がございますが、不測の事態もあり得ますので、資料はなるべく事前にご準備下さい。

[大会参加者の皆さんへ]

1. **受付時間、発表開始時間の変更について**

- ・ 学会会員の受付は、**11月20日(日)09:05**からおこないます。会場の都合で、ニュースレターでお知らせした時間よりも 5 分遅くなっておりまので、ご注意下さい。
- ・ 研究発表は **11月20日(日)09:20**から開始します。会場の都合で、ニュースレターでお知らせした時間よりも 10 分早くとなっておりますので、**特に発表者の方はご自分の発表開始時間にご注意下さい。**

2. 受付は、発表会場前で行います。
3. 受付では、**大会参加費 1,000 円(学生 500 円)**を申し受けます。
4. **ワークショップ参加費(1000 円)、懇親会費(5,000 円)**は別途申し受けます。

[会場のご案内]

■大会会場は、下記の地図をご参照下さい。



広域地図



詳細地図

11月19日(土)

【理事会】

13:00～13:40 4階 和室1

【会員会】

13:50～14:30 4階 和室1

【ワークショップ】

14:40～17:30 4階 和室1(参加費 1,000円)

講師プロフィール

福島市都市計画課まちづくり推進係	係長	高野 卓 様
福島市都市計画課まちづくり推進係	技査	八巻充晴 様
福島商工会議所	理事・事務局長	本田政博 様

【懇親会】

18:00～20:00 笑門そば 峰亀 曾根田店(会費 5,000円)
福島県福島市曾根田町 3-33(大会会場から徒歩約2分)
TEL 024-534-4934

11月20日(日)

【受付】

09:05～ 4階会場前

【研究発表】

09:20～09:50 4階 小活動室2
漆文化・産業を活用した地域再生の動向と課題
—川連漆器産業を事例として—

石沢真貴(秋田大学)

09:50～10:20 いわき市平沼ノ内区における各隣組の特徴

班目佳小里(福島工業高等専門学校)

松本行真(東北大学)

杉山武史(福島工業高等専門学校)

10:20～10:50 原発避難者と津波被災者の交流

—いわき・まごころ双葉会といわき市薄磯団地自治会の事例—

齊藤綾美(八戸学院大学)

10:50～11:20 「東日本大震災と東北圏広域地方計画の見直し」のその後

野々山和宏(弓削商船高等専門学校)

11:20～11:50 東日本大震災の被災体験と東北都市学会

—日本都市学会第63回大会・「新しい都市学」特別セッションを踏まえて

東日本大震災からの復興過程で提起された「新しい都市学」の方向性—

増田聡(東北大学)

【メモ】

東北都市学会
東北都市学会事務局

〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30
福島工業高等専門学校
コミュニケーション情報学科
田渕義英研究室気付

Tel 0246-46-0857

E-mail tabuchi@fukushima-nct.ac.jp